

会報ひまわり

創刊第4号

目次

- 1:療育知識〈コミュニケーション力を育てていくために〉
- 2:お知らせ〈ペアレントサポート事業の経過報告〉

療育知識〈コミュニケーション力を育てていくために～ルールを作ろう～〉

ルールを設定することは、非常に大切です。

なぜなら、ルールとコミュニケーションは同一性を含んでいるからです。

コミュニケーションとは、「対人関係における相互システム」であり、そのシステムを逸脱してしまうとコミュニケーションとしては不完全なものになってしまうことがあります。

つまり、コミュニケーションを行なうにあたっては、その背景には「ルール」が内在していると捉えることができます。

それでは、コミュニケーション上の「ルール」を子ども達はどこで学ぶのでしょうか。

それは、園・学校なども当然関わってくるでしょうが、最も子ども達が初期的にルールを理解する場所は「家庭内」です。

家庭で学んだルールを基盤として、園や学校の中で集団の中でのルールを学んでいきます。ですから、まずは、家庭内での「ルール作り」を行なっていくことが大切なことと考えられます。

それは、「欲求表現」などの基礎的な場面から「あいさつ」（いただきますなどのポーズなども含め）など、子どもの発達段階に合わせて、つまり「子どもの物差し」で指導していくことが大切です。

ペアレントサポート事業の経過報告

この度は、当会のHP、そして会報誌をご覧くださいまして誠にありがとうございます。

さて、昨年度より、当会の新規事業といたしまして始めさせていただいております「ペアレントサポート事業」でございますが、早いもので1年が経とうとしております。

昨年は、「グループペアレントトレーニング基礎講座」(全5回)および「支援者向け講座」(全6回)という2つの講義を展開いたしました。受講してくださいました方々からは

「子どもへの対応など、役立つ話が多く参考になった」

「正確な知識を身に付けることができた」

などのご感想をいただき、大変嬉しく思っております。

今後も引き続き講座の開講を予定しており、HP上でもすでにご案内させていただいておりますが、4月からは「グループペアレントトレーニング基礎講座」(全5回)を開催いたします。

また、夏には「早期介入のための連続講座」(全4回)と題しまして、新規講座を予定しております。

この講座は、幼児期という大切な時期の1つの中での子育て方法・環境設定を軸にお話させていただくこととなっております。

また、普段の子育ての中で不安に思うこと、迷うことがある中で、「はじめの一步」として、これからより一層望ましい関わり方を行う中での、「第一歩」としてのメッセージとなることを目的としております。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。

NPO法人ひまわりの会 事務局